

令和 6 年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R6 年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の数値	目標の数値	本年度実績	本年度実績	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
吉野町	学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	令和6年4月より認定こども園が一園化され、町内1園1小1中となった。吉野町の豊かな地域教育資源を生かした0歳から15歳までの系統だった吉野町の一貫教育を推進する。更に子どもたちのふるさとの学びを豊かなものにするためには、地域学校協働活動に参画する多くの地域人材が必要となっている。	新たな参加を促すために地域教育資源をひともの・ことに整理し、教職員とも共有しながら、教育課程において地域資源を活用してもらおうよう取り組んでいる。	今年度から導入したCSとの一体的な取組により、学校と地域が、育てたい子ども像、めざしたい学校づくりをより明確に共有しながら、多くの地域住民が地域学校協働活動に参画してもらえるよう同活動の情報発信力を高めるとともに、地推員のコーディネート等により、学校園と地域住民のつながりを開拓し、あらたな地域人材の活躍の場を創出する。	吉野町の地域人材を生かした子どもたちの教育活動（幅と質）の充実のために、地域学校協働活動に参画する地域人材の人数を増やす。	地域学校協働活動に参画する新たな地域人材の人数	R5新規19	人	10	12名	3	地推員のコーディネーター等により、新たに活動に関わってくださるボランティアを獲得できた。新たな地域人材の参加・参画を得て、活動の中で工夫できることや、子どもたちがよりよい環境で学校生活を送る事ができるよう、多様な視点で活動内容の更なる充実が期待される。 見守り活動等におけるボランティアの高齢化が課題であり、持続可能な活動の担い手を育成する取組を進める。	